1 InterSecシリーズについて

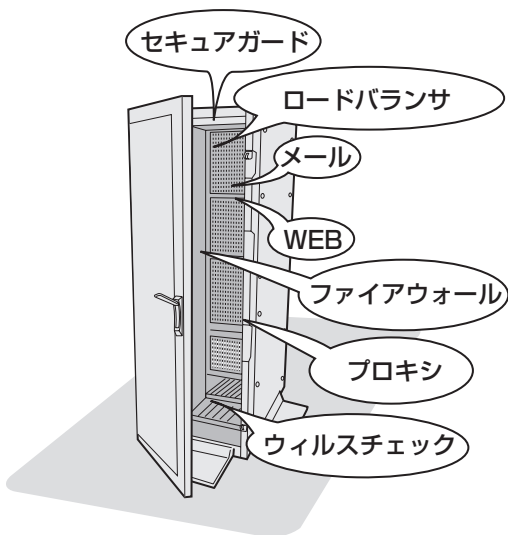
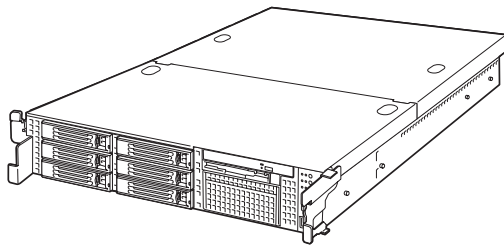
本製品や添付のソフトウェアの紹介や導入の際に知っておいていただきたい事柄について説明します。

InterSecシリーズとは（→2ページ）......................................InterSecシリーズの紹介と製品の特長・機能について説明しています。

特長と機能（→4ページ）..本製品の機能と特長について説明します。

添付のディスクについて（→6ページ）.................................本体に添付のディスクの紹介とその説明です。

InterSecシリーズとは

お客様の運用目的に特化した設計で、必要のないサービス/機能を省き、セキュリティホールの可能性を低減し、インターネットおよびイントラネットの構築時に不可欠なセキュリティについて考慮して設計されたインターネットセキュリティ製品です。

1台のラックにそれぞれの機能を持つ装置を搭載(クラスタ構成可能)

InterSecシリーズの主な特長と利点は次のとおりです。

- **運用性**

  運用を容易にする管理ツール。

- **クイックスタート**

  Webベースの専用設定ツールを標準装備。短時間(約5分)で初期設定を完了します。

- **高い信頼性**

  単体ユニットに閉じた動作環境で単機能を動作させるために、障害発生の影響は個々のユニットに抑えられます。また、絞り込まれた機能のみが動作するため、万一の障害発生時の原因の絞り込みが容易です。

- **高い拡張性**

  専用機として、機能ごとに単体ユニットで動作させているために用途に応じた機能拡張が容易に可能です。また、複数ユニットでクラスタ構成にすることによりシステムを拡張していくことができます。

- **コストパフォーマンスの向上**

  運用目的に最適なチューニングが行えるため、単機能の動作において高い性能を確保できます。また、単機能動作に必要な環境のみ提供できるため、余剰スペックがなく低コスト化が実現されます。

- **管理の容易性**

  環境設定や運用時における管理情報など、単機能が動作するために必要な設定のみです。そのため、導入・運用管理が容易に行えます。

InterSecシリーズには、目的や用途に応じて次のモデルが用意されています。

- **MWシリーズ(メール/WEB)**

  WebやFTPのサービスやインターネットを利用した電子メールの送受信や制御などインターネットで必要となるサービスを提供する装置です。

- **FWシリーズ(ファイアウォール)**

  CheckPoint FireWall-1を搭載し、高度なアクセス制御が可能な、大中規模の企業ネットワーク向けのファイアウォール専用機です。

- **SGシリーズ(ファイアウォール)**

  インターネットと接続した中小規模の企業ネットワークを外部からの不正なアクセスから守るファイアウォール専用機です。

- **LBシリーズ(ロードバランサ)**

  複数台のWebサーバへのトラフィック(要求)を整理し、負荷分散によるレスポンスの向上を目的とした装置です。

- **CSシリーズ(プロキシ)**

  Webアクセス要求におけるプロキシでのヒット率の向上(フォワードプロキシ)、Webサーバの負荷軽減・コンテンツ保護(リバースプロキシ)を目的とした装置です。

- **VCシリーズ(ウィルスチェック)**

  インターネット経由で受け渡しされるファイル(電子メール添付のファイルやWeb/FTPでダウンロードしたファイル)から各種ウィルスを検出/除去し、オフィスへのウィルス侵入、外部へのウィルス流出を防ぐことを目的とした装置です。

特長と機能

本装置は、ISP/ASPなど多くのサーバの運用に適したインターネット装置です。WebサーバやFTPサーバによる情報発信や電子メールの運用・管理を行います。ISP/ASPにはもちろん、SSLにも対応しているので、高いセキュリティが要求される商取引や企業・支店間での情報共有などの用途にも適しています。すべての機能はWebブラウザから「Management Console」に接続することで容易に管理できます。

本装置は、次のような機能を提供します。

メールサーバ機能

メールの送受信に必要な基本機能(SMTP/POP3/IMAP4サーバ)に加え、さまざまな付加機能を備えています。

- **SPAMメール/不正中継対策機能**

  特定のドメイン(IPアドレス)からのメール中継や発信メールを拒絶したり破棄したりする機能を個別に設定することができます。これにより、SPAMメール(一方的に不特定多数に送付されるメール)や不正にメールサーバを利用されることを防止することができます。

- **WEBMAIL機能**

  Webブラウザを利用してメールを送受信することができます。この機能を利用するとWebブラウザが利用できる外出先・自宅のコンピュータや携帯電話から自分宛のメールを参照/発信をすることができます。

- **認証/暗号化機能**

  REPLAY攻撃による不正なメール参照を防ぐためにPOP3・IMAP4プロトコルそれぞれ以下のような認証機能を備えています。

  - POP3: APOP認証、CRAM-MD5認証
  - IMAP4: CRAM-MD5認証

  また、メールサーバとメールクライアント間の通信を暗号化する、POP3 over SSL、IMAP4 over SSLを利用することで情報漏洩を防ぐことができます。

- **メーリングリスト機能**

  メーリングリストの作成・管理を「Management Console」で行うことができます。

- **メール参照機能**

  POP3/IMAP4サーバ機能は標準プロトコルの機能のほか、拡張機能も備えており幅広いメールソフトで利用できます。

  - POP3: TOP、UIDL、STLS拡張
  - IMAP4: IMAP4rev1、IDELE、LITERAL+、UIDPLUS、STARTTLS

  また、IMAP4にあるSEARCH機能は日本語で検索ができます。

- **EXPIRE機能**

  メールの保存期間をユーザー単位に設定し、設定期間を経過したメールを自動的に削除することができます。

- **キュー管理機能**

  メールキューの削除・即時配信を手動で行います。

- **全メール保存機能（オプション製品）**

  内部及び外部からのメールを指定された条件に従ってメール転送します。

Webサーバ機能

Webサーバ機能には多種多様なWebシステムを構築できるようにさまざまな付加機能が備わっています。

- **暗号化機能**

  秘密鍵と証明書を「Management Console」から作成し、すぐにSSL通信を使用したWebサイトの構築ができます。

- **cgiプログラム機能**

  cgiプログラムで書かれたデータ集計処理ページや、データ登録・管理などを行うページを作成することができます。CGIプログラムで利用できる言語は、Perl、Ruby、PHP、Python等のスクリプト言語にも対応しています。

その他の機能

- **仮想ドメイン機能**

  1台の装置に複数のドメインを割り当てる機能です。

  Webサーバ、メールサーバなど今まで複数の装置で運用していたサービスを一台の装置で管理することができます。また、telnet,ssh,ftpサーバも仮想ドメインに対応しています。異なるドメインであれば、同一のユーザ名が登録可能です。

- **QUOTA機能**

  メールやWebコンテンツを保存するためのディスク容量を、ドメイン/ユーザー単位で制限することができます。

- **DNSサーバ機能**

  本機をDNSサーバとして利用する事が可能です。

添付のディスクについて

本装置にはセットアップや保守・管理の際に使用するCD-ROMやフロッピーディスクが添付されています。ここでは、これらのディスクに格納されているソフトウェアやディスクの用途について説明します。

添付のフロッピーディスクやCD-ROMは、システムのセットアップが完了した後でも、システムの再セットアップやシステムの保守・管理の際に使用する場合があります。なくさないように大切に保管しておいてください。

- **バックアップCD-ROM**

  システムのバックアップとなるCD-ROMです。

  再セットアップの際は、このCD-ROMと添付の「インストール/初期導入設定用ディスク」を使用してインストールします。詳細は3章を参照してください。

  バックアップCD-ROMには、システムのセットアップに必要なソフトウェアや各種モジュールの他にシステムの管理・監視をするための専用のアプリケーション「ESMPRO/ServerAgent」と「エクスプレス通報サービス」が格納されています。システムに備わったRAS機能を十分に発揮させるためにぜひお使いください。ESMPRO/ServerAgentの詳細な説明はバックアップCD-ROM内のオンラインドキュメントをご覧ください。エクスプレス通報サービスを使用するには別途契約が必要です。お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

- **EXPRESSBUILDER(SE) CD-ROM**

  本体およびシステムの保守・管理の際に使用するCD-ROMです。

  このCD-ROMには次のようなソフトウェアが格納されています。

  - EXPRESSBUILDER(SE)

    再セットアップの際に装置の維持・管理を行うためのユーティリティを格納するためのパーティション(保守パーティション)を作成したり、システム診断やオフライン保守ユーティリティなどの保守ツールを起動したりするときに使用します。詳細は5章を参照してください。

  - DianaScope

    システムが立ち上がらないようなときに、リモート(LAN接続またはRS-232Cケーブルによるダイレクト接続)で管理PCから本装置を管理する時に使用するソフトウェアです。詳細は5章を参照してください。

  - ESMPRO/ServerManager

    ESMPRO/ServerAgentがインストールされたコンピュータを管理します。詳細はEXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM内のオンラインドキュメントを参照してください。

- **インストール/初期導入設定用ディスク(フロッピーディスク)**

  初期導入時の設定情報を書き込みます。設定情報の作成や変更をする「初期導入設定ツール」も含まれています。